

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 DRY-FH32GS	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前 〒	様
お住所	TEL ()
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

カメラ一体型ドライブレコーダー

DRY-FH32GS

取扱説明書

12V車専用

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、同梱品のmicroSDカードにFullHD画質の動画を常時録画します。



目次

はじめに	再生モード
安全上のご注意..... 2	記録ファイルを再生する..... 30
使用上のご注意..... 7	設定を変更する..... 32
本書をお読みいただくにあたって..... 9	共通設定
各部の名称と働き..... 10	共通設定を変更する..... 34
取り付けかた..... 12	専用ビューアソフト
microSD カードの装着 / 取り外し..... 14	専用ビューアソフトのインストール..... 37
電源について..... 15	専用ビューアソフトの使いかた..... 40
充電について..... 18	その他
録画ファイルについて..... 19	故障かな?と思ったら..... 61
動画記録モード	仕様..... 62
映像を記録する..... 22	アフターサービスについて..... 63
設定を変更する..... 24	保証書..... 裏表紙
静止画記録モード	
静止画を記録する..... 26	
設定を変更する..... 28	

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

-  この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
-  この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
-  この記号は、関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

-  異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがある等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
-  万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
-  サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

-  穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。
-  本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。
 - ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
 - ・湿気やほこり、油煙の多い所
 - ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内
-  破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オープンや高圧容器に入れてください。また、本機を加熱したりしないでください。

注意

-  気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。
-  本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

-  落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。
-  各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
-  ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

-  濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
-  本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

警告

-  取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
-  手動記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。
-  急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

注意

-  カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。

警告

-  取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

注意

-  取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
-  突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。
-  運転中に画面等を注視しないでください。前方不注意による事故の原因となります。

❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

❗ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

❗ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

● 電源コードについて

⚠ 警告

❗ 取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。

❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

❗ 取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。車の電装品（ブレーキ、ライト、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

❗ コードの接続は＋の極性をよく確かめて確実に行ってください。異常過熱や発火の原因となります。

❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電の原因となります。

❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ バッテリーに直接接続しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

● microSDカードについて

⚠ 警告

❗ microSDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。

❗ microSDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 内蔵リチウムイオン電池について

⚠ 危険

❗ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❗ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❗ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❗ リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❗ 火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❗ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❗ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

❗ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 警告

❗ 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

❗ リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発熱、破裂、発火の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

❗ リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。充電：0℃～+45℃
リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

❗ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

❗ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

❗ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

❌ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。

❌ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。

❌ 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

❌ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外觀、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。上書き禁止にするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画データが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。

■ 電源直結コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 液晶パネル部に関する注意

- ・表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

■ microSD カードに関する注意

- SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- SD カードは必ず本機または、専用ビューアソフトでフォーマットをしてから使用してください。

■ 取り付けに関する注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ 内蔵リチウムイオン電池に関する注意

- リチウムイオン電池には寿命があります。
- 充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に内蔵電池（充電式リチウムイオン電池）の交換（修理対応）をご依頼ください。
- 安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0～+45℃になります。

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>



リチウムイオン電池はリサイクルへ

■ 撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

本書をお読みいただくにあたって

はじめに

P. 2

「安全上のご注意」や「同梱物の確認」など、まずお読みいただきたい内容が記載されています。

動画記録モード

P. 22

動画記録モードの使いかたを説明しています。

静止画記録モード

P. 26

静止画記録モードの使いかたを説明しています。

再生モード

P. 30

再生モードの使いかたを説明しています。

共通設定

P. 34

本機の共通設定を説明しています。

ビューアソフト

P. 37

ビューアソフトの使いかたを説明しています。

その他

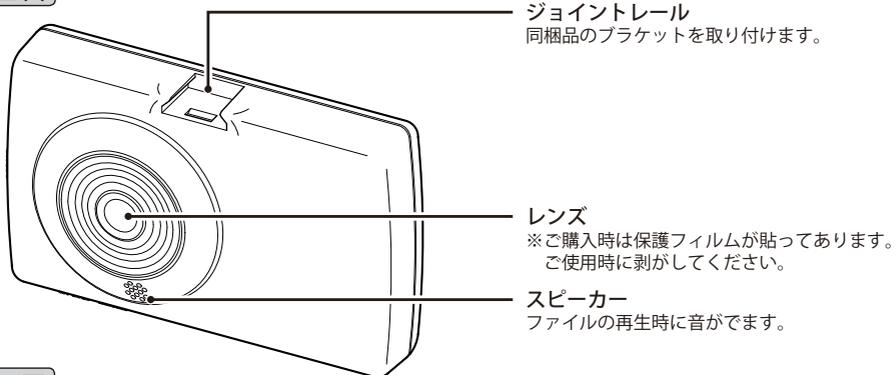
P. 61

「故障かな?と思ったら」が記載されています。仕様などはこちらをご覧ください。

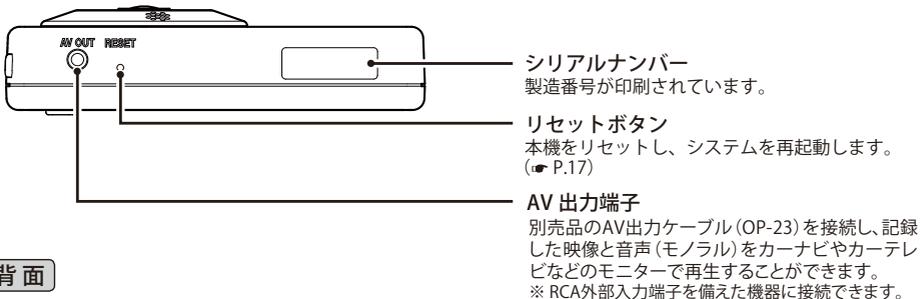
実際にご利用いただく流れに沿って内容を構成しています。

各部の名称と働き

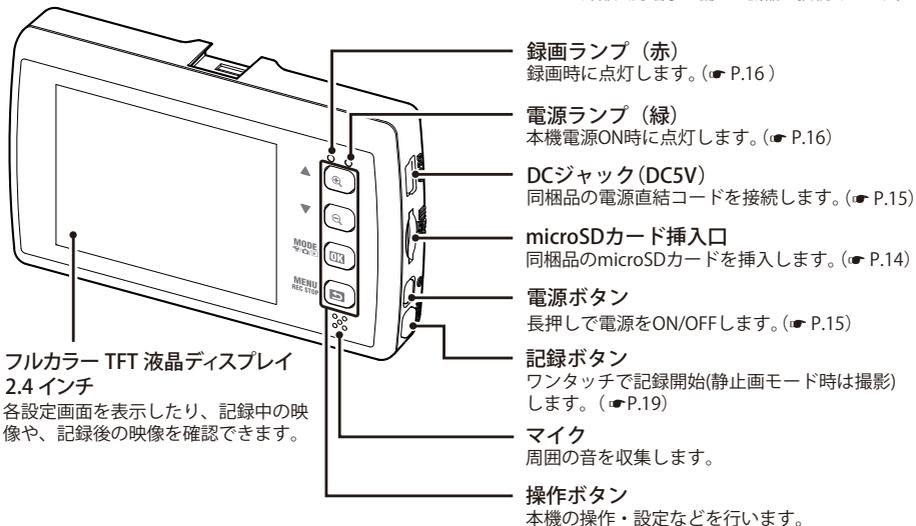
正面



下面



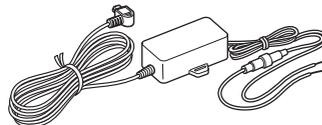
背面



同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

- 電源直結コード(約 4 m) ……1



- ブラケット ……1
- microSD カード(4GB) ……1
- 専用ビューアソフト
(同梱品の microSD カード内に収納)
- 取扱説明書・保証書(本書) ……1

・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、microSD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

専用ビューアソフトについて

・撮影した映像をご覧になれる専用ビューアソフトを同梱しています。(☛P.37)
・専用ビューアソフトは、同梱品の microSD カード内に収納されています。誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

同梱品の追加購入について

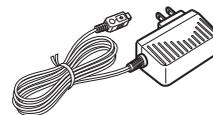
本機同梱品を追加購入されるかたは、当社ホームページをご覧ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

・YUPITERU スペアパーツダイレクトでは、製品の付属品・補修部品等をお買い求めいただけます。

別売品

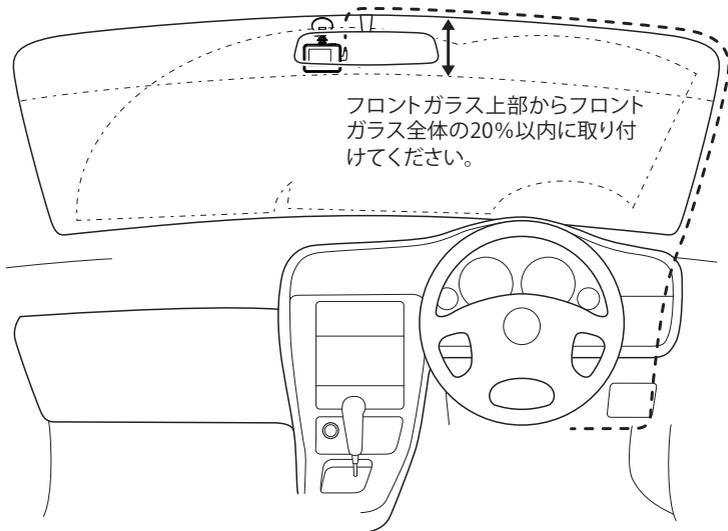
- ACアダプター OP-E368
3,150円(税込)
ご家庭で使用することができます。



- AV 出力ケーブル OP-23
2,625円(税込)
AV出力端子と接続し、記録した映像と音声(モノラル)をカーナビやカーテレビなどのモニターで再生することができます。
※RCA外部入力端子を備えた機器に接続できます。

取り付けの注意

- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ淵の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。



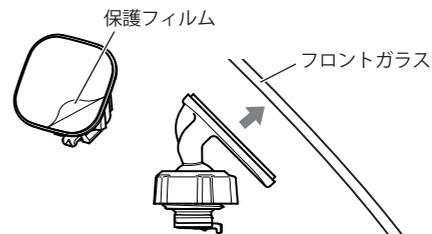
取り付け・取り外し方法

1 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがして、フロントガラスに取り付ける

- ・あらかじめブラケットや、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付けてください。

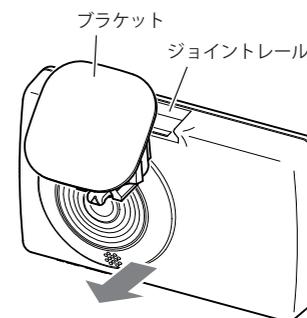
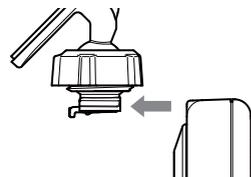
※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。

※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。



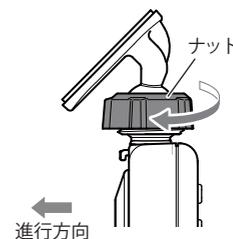
2 ブラケットを本機のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせて、本体をブラケットに装着する

- ※ 奥までスライドさせ、かるく本体を引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。



3 レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する

- ※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。



- ・本機を取り外すときは、ブラケットのロック解除レバーを持ち上げ、本機を矢印の方向にスライドさせてください。



microSD カードの装着 / 取り外し

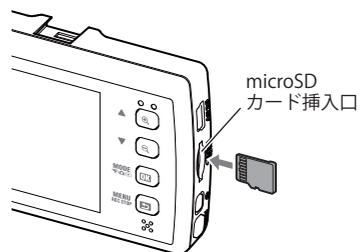
※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
 ※ 本機は、4GB 以上、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。(SD スピードクラス「Class6」以上)

注意

- 電源を OFF (電源ランプ消灯) にしてから行ってください。
- microSD カードは一方方向にしか入りません。micro SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- microSD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1 電源を OFF (電源ランプ消灯) にして、microSD カード挿入口に microSD カードを『カチッ』と音がするまで押し込む

右図の向きに合わせて入れてください。



- microSD カードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※ microSD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2 本機でフォーマットする (P.34,36)

注意

- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源を OFF にしてから microSD カードを抜いて保管してください。

電源について

接続方法

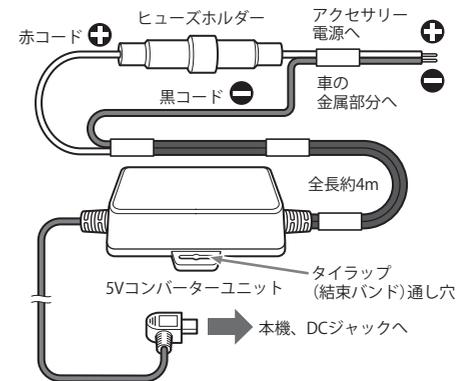
同梱品の電源直結コードを接続する。

1 赤コード (+) は、必ずエンジンキーと連動して ON/OFF する車両のアクセサリー電源に接続してください。

2 市販品のタイラップ (結束バンド) や両面テープなどを使い、5V コンバーターユニットを固定、配線処理をしてください。

次のような場所への 5V コンバーターユニットの固定や配線処理は避けてください。

- 運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。



※ 作業中のショート事故防止のため、車両へ接続するときは、車のバッテリーのマイナス端子を必ずはずしてから作業してください。
 ※ 電源は DC12V (マイナスアース) 車専用です。24V 車ではご使用いただけません。

ヒューズの交換

接続機器の電源が入らないときは、接続コード類がはずれていないか確認のうえ、ヒューズホルダーの中のヒューズが切れていないか確認してください。ヒューズホルダーを左に回し、元に戻すときは、右に回してください。



内蔵電池のみで使用する

電源ボタンを 2 秒以上長押しする

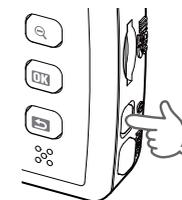
電源が ON になります。

※ 電源が ON にならないときは充電してください。

手動で電源を OFF にする

電源ボタンを 2 秒以上長押しする

録画ファイルを保存して、電源が OFF になります。



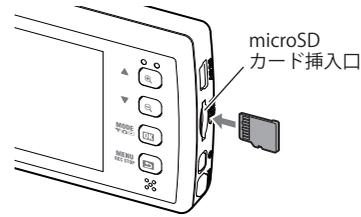
録画の開始

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

- 1 本機でフォーマットされた、同梱品の microSD カードが挿入されていることを確認する

同梱品の microSD カードが挿入されていないときは、電源が OFF (電源ランプ消灯) であることを確認して、同梱品の microSD カードを挿入してください。

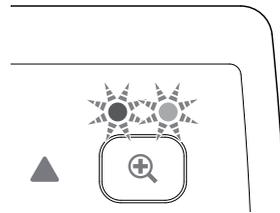
- ※ microSD カードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSD カードや本機の故障の原因となります。
- ※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは microSD カードにデータの書き込みが行われています。microSD カードの抜き差しは、電源が OFF (電源ランプ消灯) の状態で行ってください。



- 2 車両のエンジンを始動する

本機に電源が供給されると電源ランプ (緑) と録画ランプ (赤) が点灯し、動画の記録が開始されます。

- ※ 内蔵電池使用などで自動的に録画が開始されない場合は、動画記録モードになっていることを確認して、記録ボタンを押してください。(● P.23)
- ※ 初めて使用する場合は、共通設定で日時を設定してください。(● P.35)



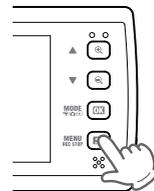
録画の停止

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

- 1 車両のエンジンを切る

電源が OFF になります。

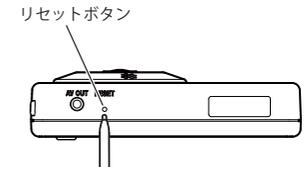
- ・手動で録画を停止したい場合は、録画中に  ボタンを押します。



リセットボタンについて

動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、先の尖ったもので、リセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

- ※ リセットボタンを押した後は本機が再起動します。
- ※ リセットボタンを押しても microSD カードに記録したデータは消えません。



バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

充電について

内蔵電池を充電する

充電温度範囲 0 ~ + 45°C 過充電防止回路付

- 車両からの充電は、同梱品の電源直結コードを本体の DC ジャックと車両に接続し、電源が供給されると充電が行われます。

※ 電源 ON 時の充電中は、液晶画面の右下に「充電中」の電池状態アイコンが表示されます。

約 2.5 時間で満充電になります。

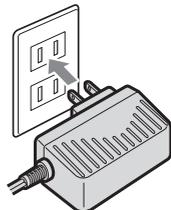
※ 電源 OFF 時の充電中は、電源ランプ(緑)が点滅し、充電が完了すると電源ランプ(緑)が消灯します。

※ 充電可能温度範囲は、0 ~ + 45°C です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。その場合は、別売品の AC アダプター(OP-E368)を使用し、室内での充電をお勧めいたします。

- 別売品の AC アダプター(OP-E368)を使って本機を充電できます。

約 2.5 時間で満充電になります。

※ 電源 OFF 時の充電中は、電源ランプ(緑)が点滅し、充電が完了すると電源ランプ(緑)が消灯します。



電池状態アイコンについて

液晶画面右下に次のように電池の状態を表示します。

状態	電池残量多い (満充電)	電池残量少ない	要充電 (点滅)	充電中
アイコン				

満充電の状態でも最長約 30 分使用できます。

※ 設定や動作条件によって短くなることがあります。

内蔵電池には寿命があります。充電しても使用可能時間が短くなった場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

録画ファイルについて

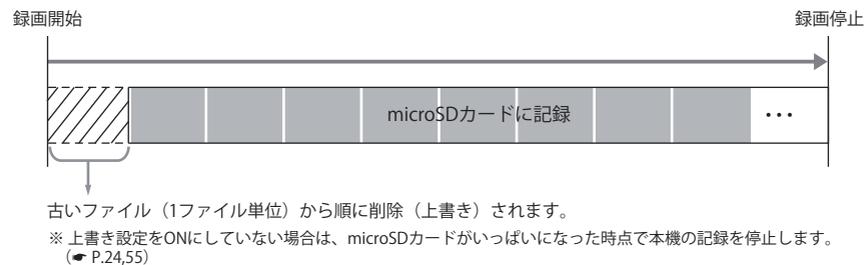
常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像を microSD カードに常時録画します。1 ファイルは約 5 分間で、上書き動作は設定内容によって異なります。(● P.24,55)
初期設定(720P)で、同梱品の microSD カード(4GB)に約 100 分の常時録画が可能です。(● P.62)

- ◆ 録画開始から録画停止まで約100分以内の場合



- ◆ 録画開始から録画停止まで約100分を越える場合



ワンタッチ記録

常時録画中に本機側面の記録ボタンを押すことで、ボタンを押した前後の映像を「映像記録設定」で設定した内容で保存します。

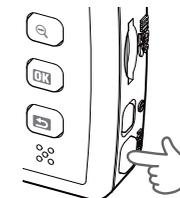
※ 上書き動作は、設定内容によって異なります。(● P.24,55)

※ 保存できるファイル数は、最大 10 件までです。

※ 1080pHD/ 毎秒 30 コマ設定時は、ワンタッチ記録・G センサ記録は使用できません。(● P.55)

⚠ 注意

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

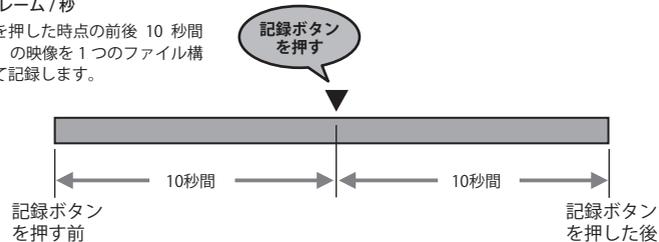


録画ファイルについて

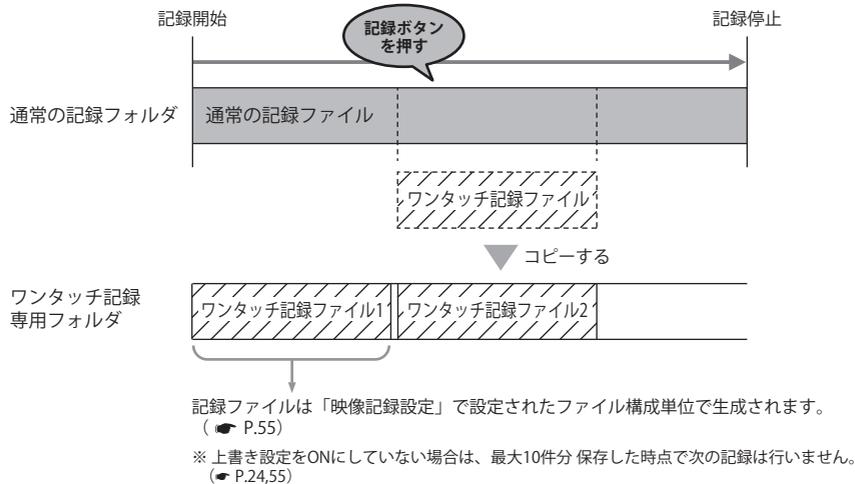
◆ ワンタッチ記録の1ファイル構成例

例：1080P 10 フレーム / 秒

記録ボタンを押した時点の前後 10 秒間 (計 20 秒間) の映像を 1 つのファイル構成単位として記録します。



◆ ワンタッチ記録の記録動作



G センサ記録

内蔵の加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、衝撃前後の映像を「映像記録設定」で設定した内容で保存します。

※ 上書き動作は、設定内容によって異なります。(● P.24,55)

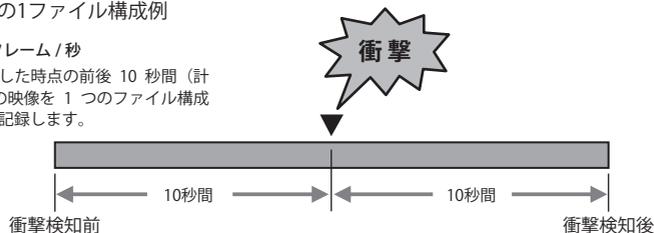
※ 保存できるファイル数は、最大 10 件までです。

※ 1080pHD/ 毎秒 30 コマ設定時は、ワンタッチ記録・G センサ記録は使用できません。(● P.55)

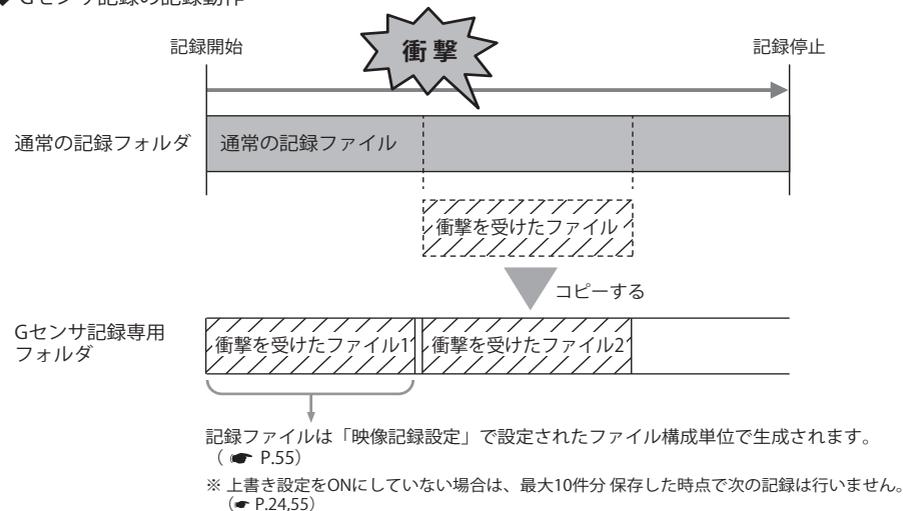
◆ G センサ記録の1ファイル構成例

例：1080P 10 フレーム / 秒

衝撃を検知した時点の前後 10 秒間 (計 20 秒間) の映像を 1 つのファイル構成単位として記録します。



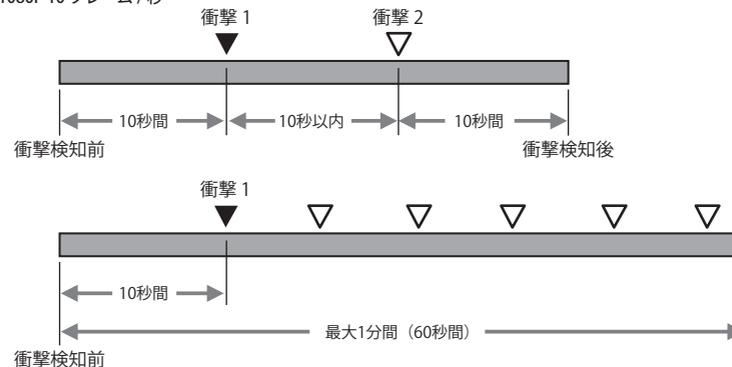
◆ G センサ記録の記録動作



連続トリガーについて

本機では、トリガ記録中に新たな衝撃が加わった場合、2回目以降の衝撃も連続して記録可能です。(最大 1 分間)

例：1080P 10 フレーム / 秒



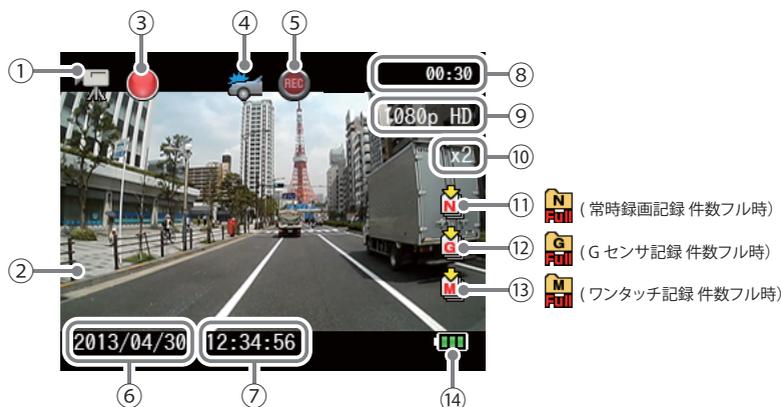
※ 連続トリガー検知後は、設定されている時間(上記例では 10 秒間)記録します。

※ 連続トリガーの記録ファイルは最大で 1 分間です。

映像を記録する

動画記録モード画面

動画記録モードでは、ビデオカメラのように連続して動画を記録します。



No.	表示名	説明
①	モードアイコン	動画記録モードアイコンを表示します。
②	ファインダー	カメラのファインダーです。
③	録画アイコン	動画記録中に点滅表示されます。
④	G センサ記録アイコン	加速度センサーのトリガ記録時に点滅表示します。
⑤	ワンタッチ記録アイコン	ワンタッチ記録時に点滅表示します。
⑥	日付	現在の日付を表示します。
⑦	時刻	現在時刻を表示します。
⑧	記録時間 / 記録可能時間	記録時には現在の映像の記録時間を、記録停止時には現在の設定での記録可能時間を表示します。
⑨	解像度	現在の設定記録解像度を表示します。(P.24)
⑩	ズーム倍率	ズーム倍率 (x2 ~ x4) を表示します。 ※ ズーム倍率は固定されません。電源を OFF にしたり、他のモードに変更した場合、1 倍に戻ります。
⑪	常時録画上書き / フルアイコン	常時録画上書き時、及び常時録画件数フル時に表示 ※一度も上書きされていない時は、アイコンは表示されません。
⑫	G センサ記録上書き / フルアイコン	G センサ記録上書き時、及び G センサ記録件数フル時に表示 ※一度も上書きされていない時は、アイコンは表示されません。
⑬	ワンタッチ記録上書き / フルアイコン	ワンタッチ記録上書き時、及びワンタッチ記録件数フル時に表示 ※一度も上書きされていない時は、アイコンは表示されません。
⑭	内蔵電池アイコン	内蔵電池の状態を表示します。(P.18)

動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
	1 倍 ~ 4 倍までズームインします。
	4 倍 ~ 1 倍までズームアウトします。
	動画記録停止中は、モードを変更します。 動画記録中は、ファインダー表示を消します。
	動画記録停止中は、動画記録モード設定メニューへ (P.24) 動画記録中に押すと、動画記録を停止します。

映像を記録する

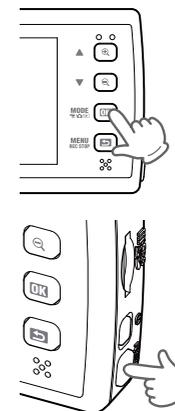
動画記録停止の状態や他のモードの状態から、動画記録を開始する方法を説明します。

1 本機の電源が ON になっていることを確認する

2 MODE OK ボタンを押して、動画記録モードにモード変更する

※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

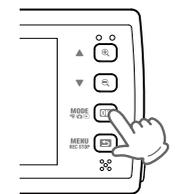
3 記録ボタンを押して、動画記録を開始する



動画記録中のファインダー表示

1 MODE OK ボタンを押して、動画記録中のファインダー表示を ON/OFF することができます。

※ ボタンを押すたびに「表示」「非表示」が切り替わります。
※ 「録画設定」で、「液晶画面自動 OFF」を設定することもできます。(P.24,55)



設定を変更する

動画記録モードの設定メニュー

動画記録モードの録画設定を、確認または変更します。



★は初期設定値です。

項目	設定	説明
解像度	1080P HD (1920 x 1080)	記録する映像の解像度を選択します。
	1080P (1440 x 1080)	
	720P (1280 x 720) (★)	
	VGA (640 x 480)	
フレームレート	30 フレーム / 秒 (★)	記録する映像のフレームレート (1 秒間に何フレーム記録するか)を設定します。
	10 フレーム / 秒	
音声録音	ON (★)	映像と同時に、音声も記録するかを設定します。
	OFF	
イベントビーブ音	ON (★)	ワンタッチ記録や G センサ記録が発生した際に、ビーブ音を鳴らすかを設定します。
	OFF	
常時録画上書き	ON (★)	microSD カードが空きが無くなった場合、古いファイルから削除して上書きするかを設定します。
	OFF	
ワンタッチ記録上書き	ON (★)	microSD カードが空きが無くなった場合、古いファイルから削除して上書きするかを設定します。
	OFF	
G センサ記録上書き	ON (★)	microSD カードが空きが無くなった場合、古いファイルから削除して上書きするかを設定します。
	OFF	
液晶画面自動 OFF	ON	記録中の液晶画面を自動的に (録画開始約 10 秒後) に OFF するかを設定します。
	OFF (★)	
G センサ設定	シンプル (★)	G センサの設定を、シンプルかこだわりから選択します。
	こだわり	

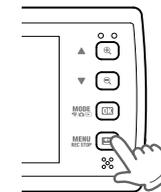
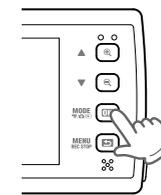
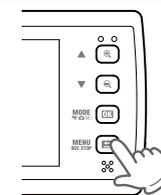
項目	設定	説明
G センサ感度 (シンプル) (★)	感度 1 (敏感)	G センサ設定をシンプルに設定した場合の感度を、感度 1、2、3 から選択します。
	感度 2 (★)	
	感度 3 (鈍感)	
G センサ感度 (こだわり)	衝撃	G センサ設定をこだわりに設定した場合の各項目の感度を、個別に感度 1 (敏感)、2、3 (鈍感) から選択します。初期設定は「感度 2」になります。
	急ハンドル	
	急発進 / 急ブレーキ	

設定操作時のボタンの機能

ボタン	機能
	設定項目を選択します。
	設定項目を選択します。
	選択項目を決定します。
	ひとつ前の項目に戻ります。

設定メニューへの変更

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、 ボタンを押して、動画記録を停止する
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示はできません。
- 2 ボタンを押して、動画記録モードを選択する
※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。
- 3 ボタンを押して、動画記録モードの設定メニューを表示する
・ ボタンを押すと、共通設定メニューを表示します。
※ 共通設定メニューは、動画記録モード、静止画記録モード、再生モードで表示されるものと同じです。(P.34)



静止画を記録する

静止画記録モード画面

静止画記録モードにすると、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。



No.	表示名	説明
①	モードアイコン	動画記録モードアイコンを表示します。
②	ファインダー	カメラのファインダーです。
③	日付	現在の日付を表示します。
④	時刻	現在時刻を表示します。
⑤	撮影可能枚数	残りの microSD カード容量で撮影可能な静止画枚数を表示します。
⑥	解像度	現在の設定記録解像度を表示します。(P.28)
⑦	ズーム倍率	ズーム倍率(x2 ~ x4)を表示します。 ※ ズーム倍率は固定されません。電源を OFF にしたり、他のモードに変更した場合、1倍に戻ります。
⑧	内蔵電池アイコン	内蔵電池の状態を表示します。(P.18)

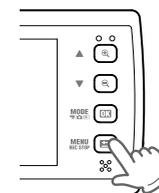
静止画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
	1倍～4倍までズームインします。
	4倍～1倍までズームアウトします。
	モード変更
	静止画記録モード設定メニューへ(P.28)

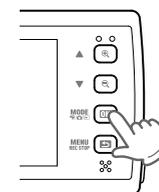
静止画を記録する

静止画記録モードにすると、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。

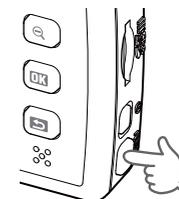
- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、**MENU** ボタンを押して、動画記録を停止する
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示はできません。



- 2 **MODE** ボタンを押して、静止画記録モードにモード変更する
※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。



- 3 記録ボタンを押して、静止画を記録する
※ 静止画の解像度は、「撮影設定」で変更できます。(P.28)



設定を変更する

静止画記録モードの設定メニュー

静止画記録モードの撮影設定を、確認または変更します。



★は初期設定値です。

項目	設定	説明
解像度	3.5M (2176 x 1632)(★)	記録する静止画の撮影解像度を選択します。
	1080p HD (1920 x 1080)	
	1080p (1440 x 1080)	
	720p (1280 x 720)	
	VGA (640 x 480)	

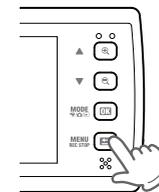
設定操作時のボタンの機能

ボタン	機能
	設定項目を選択します。
	設定項目を選択します。
	選択項目を決定します。
	ひとつ前の項目に戻ります。

設定メニューへの変更

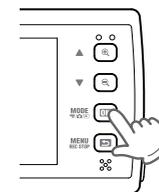
- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、 ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示はできません。



- 2 ボタンを押して、静止画記録モードを選択する

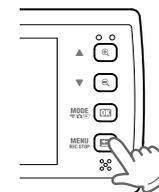
※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。



- 3 ボタンを押して、静止画記録モードの設定メニューを表示する

・ ボタンを押すと、共通設定メニューを表示します。

※ 共通設定メニューは、動画記録モード、静止画記録モード、再生モードで表示されるものと同じです。(P.34)



記録ファイルを再生する

再生モード画面

再生モードにすると、記録したファイルを本機上で見ることができます。

再生待機画面



動画再生画面



No.	表示名	説明
①	ファイル種類アイコン	ファイルの種類に応じて、動画、静止画アイコンを表示します。
②	記録映像 / 画像	記録した動画または静止画を表示します。
③	操作ガイドアイコン	操作ボタンとその機能を表示します。
④	記録日付	映像、画像を記録した日付を表示します。
⑤	記録時刻	映像、画像を記録した時刻を表示します。
⑥	ファイル解像度	記録解像度を表示します。(P.24,28)
⑦	記録状態アイコン	ワンタッチ記録、またはGセンサー記録の場合に表示します。
⑧	内蔵電池アイコン	内蔵電池の状態を表示します。(P.18)
⑨	再生時間	記録ファイルの再生時間を表示します。

再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機能
▲ (戻る)	ファイル選択時	前のファイルを表示
	ファイル再生時	巻き戻し (x-2, x-4, x-8)
▼ (進む)	ファイル選択時	次のファイルを表示
	ファイル再生時	早送り (x2, x4, x8)
MODE OK	ファイル選択時	モード変更
	ファイル再生時	モード変更
MENU	ファイル選択時	再生設定メニューへ
	ファイル再生時	停止
記録ボタン	ファイル選択時	再生
	ファイル再生時	一時停止

記録ファイルを再生する

- 1 本機の電源がONになっていることを確認し、動画記録中の場合は、MENU ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示はできません。

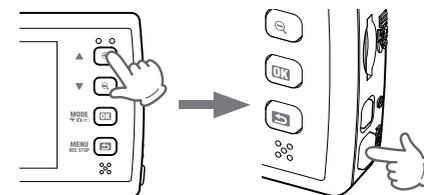
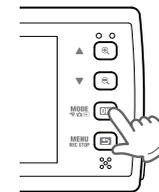
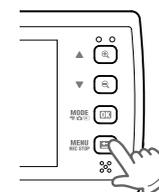
- 2 MODE OK ボタンを押して、再生モードにモード変更する

※ 押すたびに、[MODE OK 動画記録モード] → [MODE OK 静止画記録モード] → [MODE OK 再生モード] にモード変更します。

- 3 再生したいファイルがある再生フォルダを選択する (P.32)

- 4 記録ファイルを選んで、再生する

▲ ▼ ボタンを押してファイルを選択し、記録ボタンを押して再生します。



設定を変更する

再生モードの設定メニュー

再生モードの設定を、確認または変更します。
 ※画像は常時録画フォルダを表示した場合です。



★は初期設定値です。

項目	設定	説明
再生フォルダ切替	常時録画フォルダ	再生フォルダを選択して、再生するファイルの種類を設定します。
	G センサ記録フォルダ	
	ワンタッチフォルダ	
	静止画フォルダ	
消去	1 ファイル消去	記録ファイルを削除します。選択中のファイルか、再生フォルダ切替で選んだフォルダ内の全てのファイルか選択してください。 ※フォルダの上書き設定が OFF の場合は、項目が選択できず、削除できません。(P.24)
	フォルダ内を全消去	
音声再生	ON(★)	本機で記録ファイルを再生する際、録音したデータを再生するかどうかを設定します。 ※設定を ON にした場合、1080pHD で記録されたファイルは1フレーム/秒で再生されます。
	OFF	
音量	音量 4(★)	操作音量や再生音量を設定します。
	音量 3	
	音量 2	
	音量 1	
	消音	

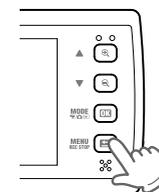
設定操作時のボタンの機能

ボタン	機能
	設定項目を選択します。
	設定項目を選択します。
	選択項目を決定します。
	ひとつ前の項目に戻ります。

共通設定メニューへの変更

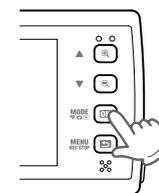
1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、 ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示はできません。



2 ボタンを押して、再生モードを選択する

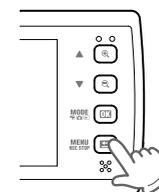
※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。



3 ボタンを押して、再生モードの共通設定メニューを表示する

・ ボタンを押すと、共通設定メニューを表示します。

※ 共通設定メニューは、動画記録モード、静止画記録モード、再生モードで表示されるものと同じです。(P.34)



共通設定メニュー

本機の基本設定を、確認または変更します。

※ 共通設定メニューは動画記録モード、静止画撮影モード、再生モードのどこからでも表示させることができます。



★は初期設定値です。

項目	設定	説明
日時	—	年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒を設定します。
操作音	ON(★)	操作音のON/OFFを設定します。
	OFF	
フリッカレス機能	OFF(★)	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz 西日本：60Hz 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。
	50Hz	
	60Hz	
設定初期化	キャンセル	設定を初期設定値(★)に戻します。
	実行	
SD カードフォーマット	キャンセル	microSD カードをフォーマット(初期化)します。(▶P.36) ※ 上書き設定がOFFのフォルダ内のファイルも消去します。
	OK	
バージョン情報	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

設定操作時のボタンの機能

ボタン	機能
	設定項目を選択したり、値を増加します。
	設定項目を選択したり、値を減少します。
	選択項目を決定します。
	ひとつ前の項目に戻ります。

共通設定メニューへの変更

- 1 本機の電源がONになっていることを確認し、動画記録中の場合は、 ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示はできません。

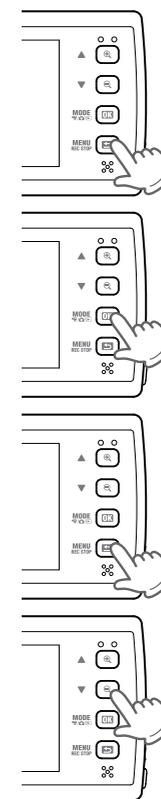
- 2 ボタンを押して、動画記録モードを選択する

※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

- 3 ボタンを押して、動画記録モードの設定メニューを表示する

- 4 ボタンを押すと、共通設定メニューを表示します。

※ 共通設定メニューは、動画記録モード、静止画記録モード、再生モードで表示されるものと同じです。



日時の設定

「日時」を選択して、現在の日時を設定してください。

ボタン	機能
	日時の値を増加します。
	日時の値を減少します。
	変更したい項目の選択、または変更した日時を保存します。また、カーソルを右に移動します。
	モード画面へ戻ります。また、カーソルを左に移動します。



microSD カードのフォーマット

1 前ページを参考に、共通設定メニューを表示させます

2 ▲ ▼ ボタンを押して [SD カードフォーマット] を選択し、MODE/OK ボタンを押す

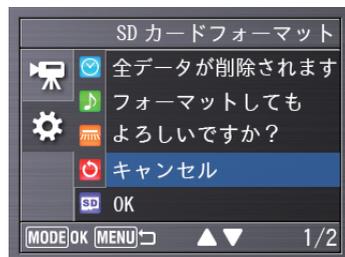


3 ▲ ▼ ボタンを押して [OK] を選択し、MODE/OK ボタンを押す

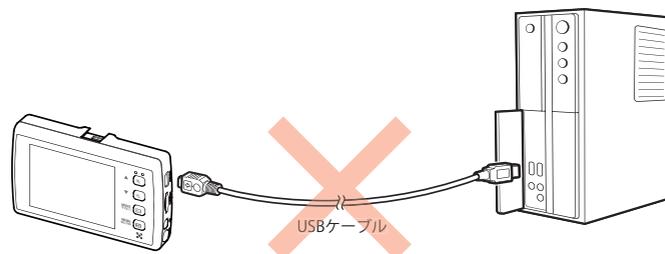


4 ▲ ▼ ボタンを押して [OK] を選択し、MODE/OK ボタンを押す
フォーマットが開始されます。

- ※ フォーマットが正常に終了すると、「SD カードのフォーマットが完了しました。」と表示します。
- ※ 「SD カードのフォーマットに失敗しました。カードに異常が発生しています。」と表示してフォーマットに失敗した場合、microSD カードの不良や非対応容量の microSD カードでないか確認してください。



本機で記録した映像は、専用ビューアソフトを使い、パソコンで見ることができます。



※ 本機とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
必ず本機から microSD カードを取り出して、microSD カードをパソコンと接続してください。

インストールの準備

OS : Microsoft Windows7 または 8
CPU : Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上
画面解像度 : XGA(1024 x 768) 以上
SDHC 対応のリーダーライター

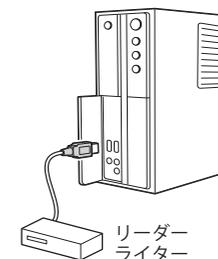
対象 OS

- ・ Windows 7
- ・ Windows 8

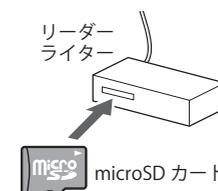
※ ご使用の microSD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、microSD カード内のファイルが破損することがあります。

1 リーダーライターをパソコンに接続する

※ microSD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。



2 同梱品の microSD カードをリーダーライターに接続する



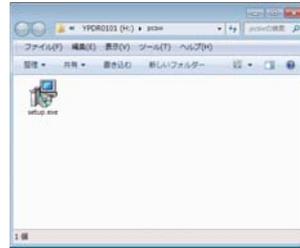
3 エクスプローラなどを起動し、「YPDR0101」と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダをダブルクリックする



専用ビューアソフトをインストールする

1 [setup.exe] をダブルクリックする

※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。



2 セットアップウィザードの開始

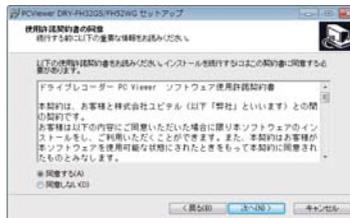
[次へ]をクリックします。



3 使用許諾契約書に同意する

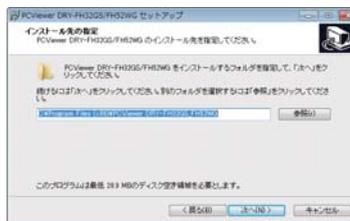
「同意する」にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

※ チェックを入れていない状態では、[次へ]をクリックすることができません。



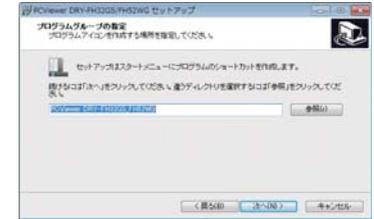
4 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し[次へ]をクリックします。



5 プログラムグループの指定

プログラムグループが表示がされますので、[次へ]をクリックします。



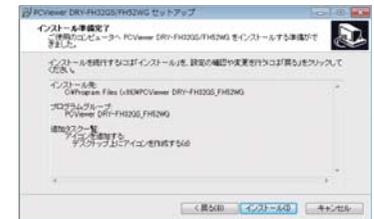
6 追加タスクの選択

デスクトップ画面上にショートカットアイコンを作成します。確認して「次へ」をクリックします。デスクトップ画面上のアイコンをダブルクリックするだけで、いつでも専用ビューアソフトを起動できます。



7 インストール準備完了

[インストール]をクリックします。



8 セットアップの完了

[完了]をクリックします。

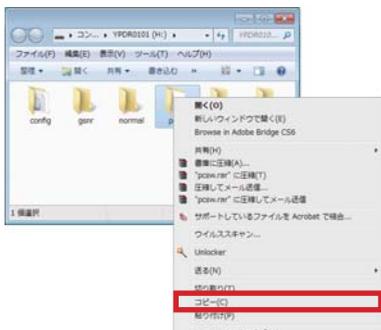


専用ビューアソフトのバックアップ(コピー)について

専用ビューアソフトは同梱品の microSD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

- 1 エクスプローラなどを起動させ、「YPDR0101」と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダ上で右クリックし、「コピー」を選択する



- 2 デスクトップ上で右クリックし、「貼り付け」を選択する



- 3 保存の完了

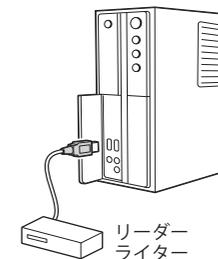
デスクトップに「pcsw」フォルダがコピーされます。

記録データの準備

- 1 リーダーライターをパソコンに接続する

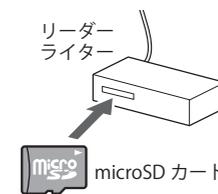
※ microSD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

※ 本機とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。本機から microSD カードを取り出して、microSD カードをパソコンと接続してください。



リーダーライター

- 2 同梱品の microSD カードをリーダーライターに接続する



リーダーライター

microSD カード

- 3 デスクトップにある「PC Viewer DRY-FH32GS_FH52WG」アイコンをダブルクリックする

専用ビューアソフトが起動します。

※ 専用ビューアソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。



4  (フォルダを指定) をクリックする



5 「YPDR0101」と表示されているドライブを指定し、[OK] をクリックする

[ファイル] をクリックし [データフォルダを指定] から、[YPDR0101] を選択しても同じ画面表示になります。



記録された映像を見る (ワンタッチ記録、G センサ記録)

1 [ワンタッチ] または [G センサ] タブをクリックする



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」 をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。



3 [読み込み] をクリックする

- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・ [ファイル] をクリックし、[読み込み] から [ワンタッチ] または [G センサ] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



ワンタッチ記録、Gセンサ記録のファイル名について

記録ボタン押した時や衝撃を検知した日付、時間がファイル名となります。

2013. 04. 20 19 : 21 : 12 ワンタッチ (またはGセンサ)
年 月 日 時 分 秒 トリガ (映像を記録するきっかけ)

●トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「Gセンサ」、記録ボタンを押して記録した場合は「ワンタッチ」と表示されます。

常時録画のファイル名について

日付、時間、期間がファイル名となります。

2013. 04. 20 19 : 21 : 12 20分
年 月 日 時 分 秒 期間 (映像の記録時間)

No	表示名	表示の意味
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		静止画に変換します。
		印刷をします。
		動画変換します。
		データのバックアップをします。
		使用しません。
		記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。
③	音量 / 表示切替ボタン	音量を調節します。 / シングル画面、16分割画面に切り替えます。
④	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向：赤色)、左右(Y方向：黄緑色)、上下(Z方向：青色)で表示します。
⑤	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。
⑥	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑦	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑧	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。

4 再生する

ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生を行います。

● 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



- ・ [再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・ 記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生] や [早戻し] のボタンをクリックしてください。

● や ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変えることができます。

- ・ を1回クリックすると1倍速(通常速度)、2回クリックすると0.5倍速(スロー)で[再生]または[逆再生]できます。
- ・ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。

● ボタンをクリックするとシングル画面表示、 ボタンをクリックすると16分割画面表示に切り替えることができます。

- ・ [表示] をクリックし [画面表示] から [シングルチャンネル] または [シングルチャンネル 16分割] をクリックしても同様に画面表示を切り替えることができます。



加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

● 加速度センサー表示は ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、 ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

- ・ [表示] → [加速度センサースケール] から [拡大] [標準] [縮小1] [縮小2] を選択、操作をしても同様の動作となります。
- ・ エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



記録された映像を見る(常時録画)

1 常時録画タブをクリックする



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。



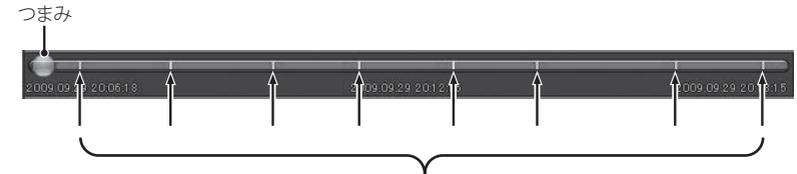
3 [読み込み] をクリックする

- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
 - ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
 - ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [常時] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。 黄色の縦線は、トリガ位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のトリガ位置 (衝撃検知位置やワンタッチ記録位置) を表示します。

- つまみをスライドさせ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます



常時録画中に、トリガ(衝撃検知や記録ボタン操作)での記録があった場所を表示します。

- ボタンをクリックするとトリガのリスト表示に切り替えることができます。



リストの項目をクリックすると、記録したトリガまでジャンプし、映像を再生することができます。



撮影した静止画を見る

1 静止画タブをクリックする



2 ファイル名の一覧より、見たい静止画のファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。



3 「読み込み」をクリックする

- ・ 選択した静止画が読み込まれ、表示されます。
 - ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の静止画が表示されます。
 - ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [静止画] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



記録した映像を保存する

microSD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

 バックアップ

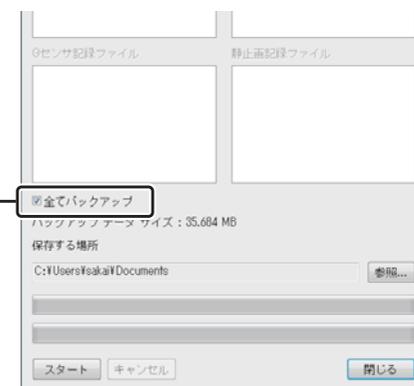
microSD カードに記録されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。
※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、動画データの削除 (P.59) を行ってください。

1 ファイル名の一覧より、保存したい映像ファイル名をクリックし、 を入れる

2  (バックアップ) をクリックする

- ・ [ツール] をクリックし [バックアップ] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ・ 読み込まれたファイルが表示されます。

- 全てバックアップ
- を入れると microSD カードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。



3 保存先を指定し、[スタート] をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

4 保存が完了すると、「バックアップ完了」と表示される

[OK] をクリックするとバックアップの画面に戻ります。フォルダ内に 5 つのフォルダが作成されます。

5 終了するときは [閉じる] をクリックする

バックアップしたファイルはデータフォルダの参照よりバックアップを選択すると確認できます。

動画変換

記録されたファイルを AVI 形式 (MJPEG) の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像を見る

動画変換して保存したファイルは Microsoft Media Player Ver12.0 以上で再生できます。

1 ファイル名の一覧より、動画変換したい映像ファイル名をクリックし、 を入れ、[読み込み] をクリックする

2 (動画変換) をクリックする

・ [ツール] をクリックし、[動画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

3 お好みのファイル名や保存する場所、範囲、フレーム数、画質を指定し、[スタート] をクリックする

「速度」など、各項目に を入れると、保存映像に字幕として各項目の情報を表示します。「音声」に を入れると、音声入りの動画ファイルを保存します。



4 保存が完了すると、「動画変換しました」と表示される

[OK] をクリックすると動画変換の画面に戻ります。指定した保存先に * .avi ファイルが保存されます。

※ * 部には、映像を記録した日時か、指定した名称が入ります。



5 終了するときは [閉じる] をクリックする

静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、「表示中の画像」または「範囲を指定」を選択します。

静止画変換した映像を見る

静止画変換し、JPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

1 ファイル名の一覧より、静止画変換したい映像ファイル名をクリックし、 を入れ、[読み込み] をクリックする

2 (静止画変換) をクリックする

・ [ツール] をクリックし、[静止画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

3 [表示中の画像]、または [範囲を指定] を選択し、お好みの保存先を指定し、[OK] をクリックする



● **表示中の画像**

シングル画面表示で静止画変換を行った場合は 1 枚、16 分割画面表示から静止画変換を行った場合は、表示されている 16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。

● **範囲を指定**

・ 表示エリアの映像から範囲指定した時間分をフレーム数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒>

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ (秒) を表示しています。

<フレーム / 秒>

1 秒間を何フレームで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大フレーム数は、記録設定のフレームレート (P.54) が反映されます。

・ 静止画枚数は秒×フレーム数になります。

4 保存が完了すると、「静止画変換しました。」と表示される

[OK] をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。



5 終了するときは [閉じる] をクリックする

記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1 ファイル名の一覧より、印刷したい映像ファイル名をクリックし、 を入れ、[読み込み] をクリックする

2  (印刷) をクリックする

・[ファイル] をクリックし、[印刷] をクリックしても同じ画面表示になります。

3 [表示中の画像] または [範囲を指定] を選択する

- 表示中の画像
表示エリアの映像を印刷します。16分割画面で表示されているときは、表示されている16枚の印刷を行います。
- 範囲を指定
表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、フレーム数指定した数で分割して印刷します。
※ 選択できる最大フレーム数は、記録設定のフレームレート(●P.54)が反映されます。
・印刷枚数は秒×フレーム数になります。

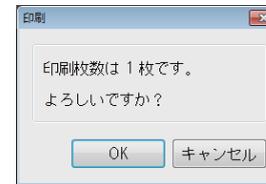


4 [OK] をクリックする

印刷画面が表示されます。



- 印刷
印刷枚数を選択します。
[OK] をクリックすると印刷を行います。



- プリンタ設定
印刷するプリンタの設定を行います。
- 1フレーム表示
1枚に1フレームの映像データを表示します。
- 4フレーム表示
1枚に4フレームの映像データを表示します。

5 終了するときは [閉じる] をクリックする

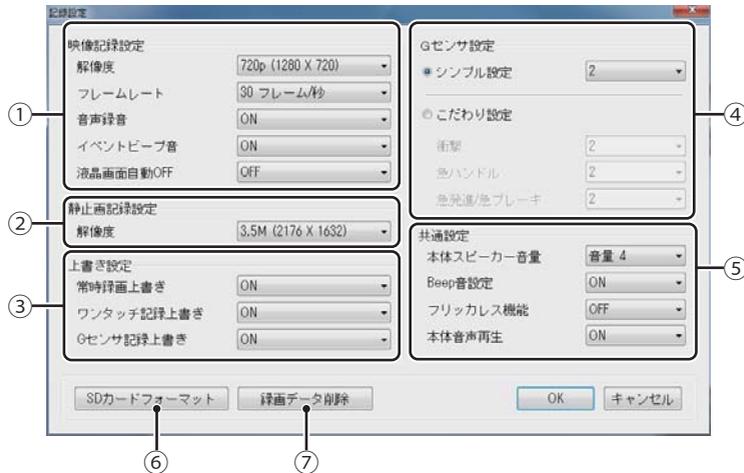
設定を変更する

記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更や microSD カードの初期化や記録データのバックアップ、microSD カードからの記録データの削除を行うことができます。

・[ツール]をクリックし[記録設定]をクリックしても同じ画面表示になります。

設定変更を行う場合は必ず microSD カードを SD カードリーダーライターに接続してご使用ください。設定内容は microSD カードに保存されます。microSD カードを本機に戻し、本機の電源が入ると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。本機側で変更した設定も専用ビューソフトの[記録設定]に反映されます。



① 記録設定

- 解像度
記録する映像の解像度を選択します。
- フレームレート
記録する映像のフレームレート(1秒間に何フレーム記録するか)を設定します。

記録設定の組み合わせ一覧

常時録画	エンジン停止直前までの映像をmicroSDカードに記録します。
ワンタッチ記録 Gセンサー記録	記録ボタンを押した時や、衝撃を検知した場合に映像を記録します。

	常時録画			
解像度	VGA(640x480)	720P(1280x720)	1080P(1440x1080)	1080P HD(1920x1080)
フレームレート (フレーム/秒)	30 / 10	30 / 10	30 / 10	30 / 10

	ワンタッチ記録 / G センサ記録				
解像度	VGA(640x480)	720P(1280x720)	1080P(1440x1080)	1080P HD(1920x1080)	
フレームレート (フレーム/秒)	30 / 10	30 / 10	30 / 10	30	10
記録時間 (前/後)	15秒 / 15秒	15秒 / 15秒	10秒 / 10秒	設定なし	10秒 / 10秒

※ 1080pHD/ 毎秒 30 コマ設定時は、ワンタッチ記録・G センサ記録は使用できません。

- イベントビープ音
ワンタッチ記録や G センサ記録が発生した際に、ビープ音を鳴らすかを設定します。
- 液晶画面自動 OFF
記録中の液晶画面を自動的に消すかを設定します。
- 音声録音
映像と同時に、音声も記録するかを設定します。

② 静止画記録設定

- 解像度
記録する静止画の解像度を選択します。

③ 上書き設定

- 常時録画上書き
microSD カードの空きが無くなった場合、古い常時録画ファイルから削除して上書きするかを設定します。
- ワンタッチ記録上書き
最大 10 件分 保存した時に、古いワンタッチ記録ファイルから削除して上書きするかを設定します。
- G センサ記録上書き
最大 10 件分 保存した時に、古い G センサ記録ファイルから削除して上書きするかを設定します。

※ 初期設定は、上書き設定が「ON」に設定されています。「OFF」に設定した場合、10 件分 保存した時点で、次の記録動作は行いません。

④ G センサ設定

● シンプル設定

衝撃感度を選択できます。
 敏感～鈍感までの3段階から設定できます。初期設定は2に設定されています。

感度レベル	動作・使用条件
1 (敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
2 (標準)	標準設定(基本的に事故のみを記録)
3 (鈍感)	悪路で反応する場合やサスペンションがかたい車の場合

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

● こたわり設定

こたわり設定に  を入れると、衝撃、急ハンドル、急発進/急ブレーキの各感度を敏感～鈍感までの3段階から個別に設定できます。
 初期設定は2に設定されています。



- ・加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴り G センサ記録アイコン  が点滅)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
- ・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

⑤ 共通設定

● 本体スピーカー音量

記録ファイル再生時の音量を設定します。

● Beep 音設定

操作音の ON/OFF を設定します。

● フリッカレス機能

使用している地域の商用周波数に合わせます。
 東日本：50Hz、西日本：60Hz
 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。

● 本体音声再生

本機で記録ファイルを再生する際、録音したデータを再生するかどうかを設定します。
 ※ 設定を ON にした場合、1080pHD で記録されたファイルは1フレーム/秒で再生されます。

各設定を終えたら [OK] をクリックします。
 「現在の設定を保存しますか」と表示されますので、[OK] をクリックしてください。

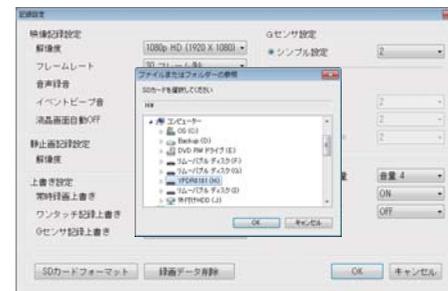
⑥ SD カードフォーマット

一度 microSD カード内のファイルをすべて消去し、必要なファイルを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、microSD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

- ※ パソコンによる microSD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、本機、または専用ビューアソフトで行ってください。
- ※ 必ず SDHC に対応した SD カードリーダーライターや SDHC に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC に対応していない場合、microSD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

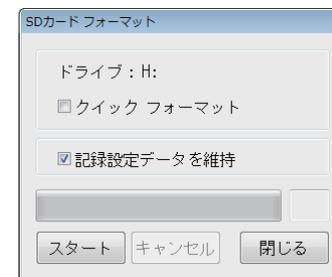
・ [ツール] をクリックし、[SD カードフォーマット] をクリックしても同じ画面表示になります。

1 [SD カードフォーマット] をクリックし、microSD カードのフォルダ (YPDR0101) を選択し [OK] をクリックする



2 フォーマットの設定をし、[スタート] をクリックする

- フォーマット画面が表示されます。
- クイック フォーマット
 - クイックフォーマット
- 短時間でフォーマットを行います。
- 記録設定データを維持
- microSD カードの初期化を行っても、記録設定のデータを保持します。
- をはずすと工場出荷時の設定内容に戻ります。
- ※ 記録されたデータは削除されます。



3 [フォーマット完了] が表示される

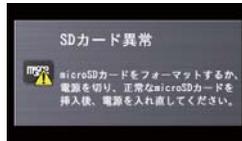
[OK] をクリックしてください。

4 [SD カード初期化完了] が表示される

[OK] をクリックすると記録設定画面に戻ります。

● SD カード完全フォーマット

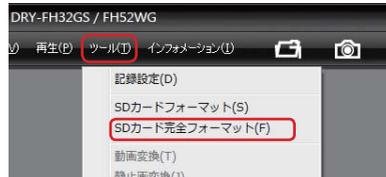
「SD カード異常」と表示された場合などに、SD カード完全フォーマットを行ってください。また、本機のソフトウェアを更新する際には、SD カード完全フォーマットを行ってください。



・通常はSDカードフォーマットをご使用ください。

- ※ SD カード完全フォーマットを行うと、SD カード内に記録されているデータはすべて消去され、ご購入時の状態に戻ります。
- ※ SD カード内に異常が発生している場合、SD カード完全フォーマットを行っても、本機で利用中に「SD カード異常」が表示される場合があります。その場合はSD カードの交換時期となりますので、他のSD カードをご準備ください。
- ※ SD カードリーダーライターは、ご使用になるSD カードの容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSD カードリーダーライターを使用すると、microSD カードを認識しても、初期化やフォーマットが正しくできない場合があります。

1 [ツール] → [SD カード完全フォーマット] をクリックする



2 microSD カードのフォルダ (YPDR0101) を選択し、[OK] をクリックする

※ お使いのパソコンの設定環境によっては、ユーザーアカウント制御等のポップアップ画面が表示される場合がありますが、[OK] や [続行] 等をクリックしてください。



3 [スタート] をクリックする

フォーマットが開始されます。



4 「フォーマット完了」と表示されたら、[OK] をクリックする

フォーマットが完了しました。



⑦ 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると [録画データ削除] と [記録設定データ初期化] が選択画面に表示されます。

● 録画データ削除

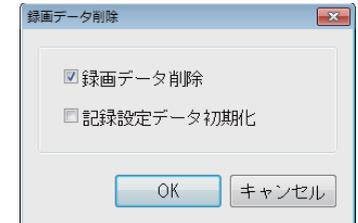
microSD カード内に記録された全データを削除します。いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(P.49)

1 [録画データ削除] をクリックする



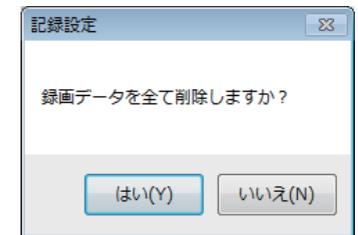
2 録画データ削除に [] を入れ、[OK] をクリックする

「録画データをすべて削除しますか?」と表示されます。



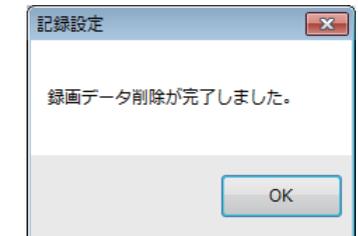
3 [はい] をクリックする

録画データの削除が完了します。



4 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。

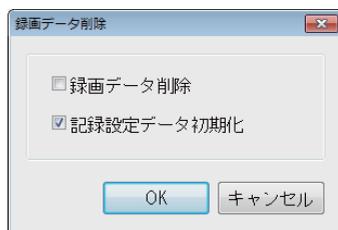


● 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

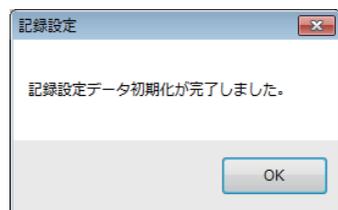
1 記録設定データ初期化に を入れ、[OK] をクリックする

記録設定データの初期化が完了します。



2 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。



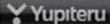
インフォメーション

● バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

● アップデート

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

・画面右上の  をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

故障かな？

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。 ●充電されていますか。(本体のみで使用のとき) 	<ul style="list-style-type: none"> ☞15 ☞18
映像が記録できない	<ul style="list-style-type: none"> ●同梱品の microSD カードが正しく挿入されていますか。 ●上書き設定が OFF になっており、microSD カードがいっぱいになっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞14 ☞24
モニター画面に斑点や輝点がある	<ul style="list-style-type: none"> ●液晶パネルの現象です、故障ではありません。(有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。) 	☞7
動作しなくなったり、誤作動を起こす	<ul style="list-style-type: none"> ●本体下のリセットボタンを押して、本機を再起動してください。 ●リセットボタンを押しても動作しない場合、microSD カード内の記録映像をバックアップなどしてから、本機、または専用ビューアソフトで microSD カードをフォーマットし、再度記録を開始してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞17 ☞36 57
エンジンを切るとズーム倍率が 1 倍に戻る	<ul style="list-style-type: none"> ●本機はズーム倍率を保持しません。 	—

仕様

電源電圧	本体：DC5V（DC12V マイナスアース車専用）
消費電力	5W
カメラ素子	350万画素カラーCMOS
カメラ画角	対角150°（116°（水平）、86°（垂直））
デジタルズーム	x1～x4
モニター	2.4インチ フルカラーTFT液晶
記録解像度	動画：200万画素 静止画：350万画素
画像サイズ	動画：VGA（640×480）/720P（1280×720）/1080P（1440×1080）/1080P HD（1920×1080） 静止画：VGA（640×480）/720P（1280×720）/1080P（1440×1080）/ 1080P HD（1920×1080）/3.5M（2176×1632）
記録媒体	microSDカード（4GB同梱）
記録形式	H.264 または JPEG ※専用ビューアソフトでのみ再生可
フレームレート	30フレーム/秒 10フレーム/秒
動作温度範囲	0℃～+60℃
外形寸法	88（W）×55（H）×17（D）mm（突起部除く）
重量	約75g（microSDカード含む）

● 記録時間の目安

microSD カード容量	VGA	720P	1080P	1080P HD
32GB	約 3000 分	約 1000 分	約 660 分	約 470 分
16GB	約 1400 分	約 490 分	約 320 分	約 230 分
8GB	約 710 分	約 230 分	約 150 分	約 110 分
4GB	約 320 分	約 100 分	約 70 分	約 50 分

※フレームレート：30 フレーム/秒の場合

- ・上記値は目安で、絶対保障値ではありません。
 - ・被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。
 - ・ワンタッチ記録、Gセンサー記録、静止画記録のデータがある場合は、記録時間は減少します。
 - ・本機は、4GB以上のmicroSDカードまたは、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。（SDスピードクラス※「Class6」以上）
 - ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。
- ※SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居で贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルで相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター



0120-998-036